

芦田川水害タイムライン検討会（第3回） ニュースレター

令和2年2月5日（水）福山庁舎第3庁舎（13:30~16:30）

- 一次第一
- 1. 開会
- 2. 今年度の出水概要について
- 3. 芦田川水害タイムラインの振り返り
- 4. グループワーキング
- 5. 質疑応答
- 6. 講評
- 7. 閉式挨拶

◆ 参加機関（県、2市、21機関）

●アドバイザー

福山大学名誉教授 宮地茂記念館館長	尾島 勝
福山大学 学長補佐（IR担当）・人間文化学部長 人間文化学部心理学科 教授	平 伸二（欠席）
福山大学工学部スマートシステム学科 教授 学科長、学長補佐（研究担当）、安全安心防災教育センター長	仲嶋 一（欠席）
福山市立大学 大学院 都市経営学研究所 都市経営学部 副学部長・教授 地域連携フェロー キャリアデザインセンター長	渡邊 一成
福山平成大学副学長 経営学部長 教授	川久保 和雄（欠席）
福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科 准教授	岡部 真智子

●参加機関

防災情報	社会基盤（土木）
広島県 土木建築局道路河川管理課	広島県東部建設事務所 管理課
広島地方気象台 水害対策気象官	広島県東部建設事務所 事業調整・土砂法指定推進班
国土交通省 福山河川国道事務所(河川)	福山市 北部建設産業課
国土交通省 八田原ダム管理所(欠席)	福山市 神辺建設産業課(欠席)
避難対応(福山市)	福山市 建設政策課
福山市 危機管理防災課	福山市 土木管理課
福山市 税制課	福山市 農林整備課
福山市 福祉総務課	福山市 上下水道総務課
福山市 経済総務課(欠席)	福山市 下水道施設課
福山市 まちづくり総務課	福山市 配水管維持課(欠席)
福山市 北部地域振興課	府中市 建設産業部上下水道課(欠席)
福山市 東部地域振興課	府中市 建設部土木課
福山市 神辺地域振興課	府中市 建設産業部監理課(欠席)
福山市 教育総務課(欠席)	社会基盤（交通・運輸）
避難対応(府中市)	西日本旅客鉄道(株) 岡山支社 安全推進室
府中市 総務部総務課(欠席)	西日本高速道路(株) 福山高速道路事務所
府中市 総務部政策企画課	(株) 中国バス
府中市 危機管理監危機管理室	福山通運(欠席)
府中市 健康福祉部地域福祉課	国土交通省 福山河川国道事務所 道路管理第二課(欠席)
大規模避難・救助	国土交通省 福山河川国道事務所
広島県 危機管理監危機管理課	三原国道維持管理出張所(欠席)
広島県警察本部 交通部交通規制課(欠席)	広報・報道
広島県警察本部 警備部危機管理課	福山市 企画政策課
福山北警察署 警備課	福山市 情報発信課
福山東警察署 警備課(欠席)	日本放送協会(欠席)
福山西警察署 警備課(欠席)	(株) 中国放送(欠席)
府中警察署 警備課	広島テレビ放送(株)(欠席)
福山地区消防組合消防局 警防部警防課	(株) テレビ新広島
福山地区消防組合消防局 救急救助課	(株) エフエムふくやま
陸上自衛隊第13旅団司令部 第3部	(株) ケーブル・ジョイ(欠席)
社会基盤（ライフライン）	
福山市 水づくり課	
府中市 上下水道課	
中国電力(株) 福山営業所 企画総括課	
中国電力(株) 尾道電力所 変電課	
福山ガス(株) 供給部 供給管理グループ	
西日本電信電話(株) 広島支店	

◆ 第3回検討会の内容

①今年度の出水概要について

- ✓ 台風の概要（2019年）
- ✓ 芦田川水害タイムライン発動状況
- ✓ 近年の出水状況
- ✓ 今年度出水における教訓（課題）



②芦田川水害タイムラインの振り返り

- ✓ 芦田川水害タイムラインの検討経緯
- ✓ タイムラインの振り返りアンケート結果
- ✓ ポータルサイトの紹介



ポータルサイトのイメージ



座長：尾島教授

③芦田川水害タイムラインの振り返り

- ✓ グループワーク
 - ・ 各自で出水対応を振り返る
 - ・ グループで出水対応を振り返る
 - ・ その他の地域の教訓から考える
- ✓ 全体討議



検討会の様子



▲各自振り返りの様子



▲グループ内共有の様子

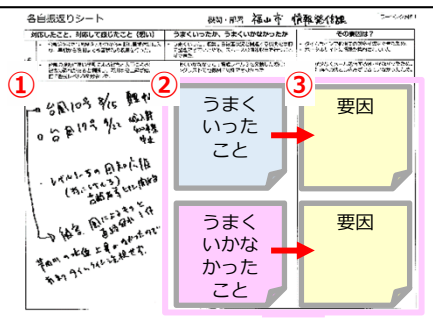


▲発表と意見交換の様子

◆ グループワーキングの内容

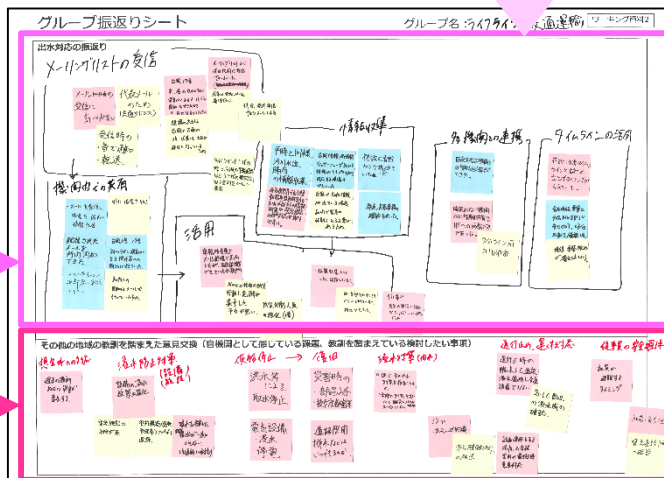
【Work1】各自で出水対応を振り返る

- 本年度の出水対応について以下のように「各自振り返りシート」に記入した
- ① 対応したこと、対応して感じたこと（想い）
- ② うまくいったこと、うまくいかなかったこと
- ③ その要因



【Work2】グループで出水対応を振り返る

- 【Work1】で作成した付箋を「グループ振り返りシート」に貼りながら共有し、同じような内容でグルーピングした
- グループで共有した特にうまくいかなかったことに対して改善策を検討し、緑付箋に記入した



【Work3】その他の地域の教訓から考える

- H30年7月豪雨や台風19号のような大きい災害が立て続けに起こっているため、**その他の地域の教訓**を踏まえて、**自機関として感じている課題**（ピンク付箋）や**教訓を踏まえて検討したい事項**（緑付箋）等を意見交換した

◆ 全体討議の主な内容

グループ	主な出水対応の振り返り/課題	改善策
避難対応 (福山市、府中市)	<ul style="list-style-type: none"> タイムラインで各機関の動きを確認した。 タイムラインレベルが上がっていくときには内水の影響が出てしまう。 週末など体制が構築されていないときにどうするかが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 各機関が災害対応マニュアルと連動して芦田川のタイムラインを活かしていく。 タイムラインの発動についても共有の仕方を決めていくのが良いと考えている。
大規模避難・救助	<ul style="list-style-type: none"> 7月豪雨を受けて意識が高まり、体制の強化をしている。 メーリングリストが送信されているが、それが伝達されているかが不安。 内水の浸水深、時間などを以下に正確に伝えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトでのレベル表示などが良いのではないかと。 例えば、福山市ではパ撮ローズという一般市民への共有ツールがある。県ではAIでの分析・共有ツールを開発中である。
社会基盤 (土木)	<ul style="list-style-type: none"> タイムラインの運用によって事前対応の意識が高まり通行止めなど迅速な準備ができた。 交通機関の情報などをタイムライン機関に確認することができた。 メールを受け取った機関が内部で連絡できていない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトにタイムラインレベルを表示してほしい。
社会基盤 (交通・運輸・ライオン)	<ul style="list-style-type: none"> タイムライン発動後の河川水位や防災情報の収集は対応できていた。 高速道路の浸水状況によって交通規制をする必要がある。 現状はホームページ等に確認しにくいので、多機関との連携がまだ見えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトやタイムラインの機関連携を活用して被害状況などが把握できるといい。 ポータルサイトにチャット機能などを付けて、各機関からの情報共有ができるといいのではないかと。
広報・報道	<ul style="list-style-type: none"> 発生前は広報車両の手配、警戒レベルの周知など、発生中は警戒レベルをホームページやSNSで発信することができた。 7月豪雨の中で、エリアメールにより市のホームページにアクセスが集中したため福山市のサーバがダウンした。 	<ul style="list-style-type: none"> メール本文にホームページに掲載している情報を添付、SNSや登録制メールの活用等の手段を検討している。

◆ まとめ

- タイムラインとは広域的な対応をするときに連携しやすいよう全体の動きを把握するものであり、これが計画そのものではない。あくまでも各機関がそれぞれの防災マニュアルに則って行動する必要がある。
- タイムラインレベルに応じて適切な行動をとるための防災情報を集約したポータルサイトを構築する必要がある。
- タイムライン検討会としては今後も継続して見直し改善などを図っていく必要がある。